

政策体系	政策No.	4	政策名	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)	施策幹事課	スポーツ・文化振興課			
	施策No.	3	施策名	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進	施策幹事課長名	浮邊 文弘			
施策関係課名		市民活動推進課、社会教育課							
<b>1 基本計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針</b> 優れた芸術文化に触れることができるよう、多様なジャンルの芸術文化を楽しむことのできる機会を提供するとともに、積極的な情報発信に努めます。 また、市民の主体的な芸術文化活動の促進と活動の裾野の拡大を図るため、団体の育成・支援を行うとともに、団体間の相互交流を推進します。 さらに、子どもたちの芸術文化に対する興味・関心の高揚や豊かな心の醸成を図るため、芸術文化に親しむ機会を積極的に提供します。									
<b>2 施策の成果把握</b>									
①成果指標 (意図の達成度を表す指標)				◎目標達成(100%以上)			△目標を未達成(100%未満)		目標達成の方向性
		単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
A	芸術文化に親しんでいる市民の割合	%	成り行き値	53.4	53.3	53.2	53.1	53.0	更なる増加を目指します
			目標値	53.6	53.8	54.0	54.2	54.3	
			実績値						
			達成率						
			結果						
B	芸術文化に触れ親しむ環境が整っていると感じる市民の割合	%	成り行き値	30.4	30.3	30.2	30.1	30.0	更なる増加を目指します
			目標値	30.6	30.8	31.0	31.2	31.4	
			実績値						
			達成率						
			結果						
C	芸術文化事業の実践者及び鑑賞者の人数	人	成り行き値	100,800.0	100,600.0	100,400.0	100,200.0	100,000.0	更なる増加を目指します
			目標値	106,000.0	109,000.0	112,000.0	115,000.0	118,000.0	
			実績値	99,154.0					
			達成率	94%					
			結果	△					
D	芸術文化団体に所属している人数	人	成り行き値	2,950.0	2,930.0	2,910.0	2,890.0	2,870.0	更なる増加を目指します
			目標値	3,200.0	3,300.0	3,400.0	3,500.0	3,600.0	
			実績値	2,457.0					
			達成率	77%					
			結果	△					
E	霧島市民会館来館者数	人	成り行き値	65,244.0	65,904.0	66,564.0	67,224.0	67,884.0	更なる増加を目指します
			目標値	66,500.0	67,800.0	69,100.0	70,500.0	71,900.0	
			実績値	61,300.0					
			達成率	92%					
			結果	△					
② 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)				③ 2022年度の目標値設定の考え方					
A 芸術文化に親しんでいる市民の割合 ※市民意識調査				A 芸術文化団体等と連携し、身近な場所で芸術文化を鑑賞・体験できる機会を提供することや積極的な情報発信により、2017年度の現状値53.4%から2022年度54.3%を目指す。					
B 芸術文化に触れ親しむ環境が整っていると感じる市民の割合 ※市民意識調査				B 関係機関と連携し、市民ニーズを踏まえた音楽・演劇等のイベントの開催や優れた芸術に触れる機会の創出等により、2016年度の現状値30.4%から2022年度31.4%を目指す。					
C 芸術文化事業の実践者及び鑑賞者の人数 ※芸術文化団体(文化協会、少年少女合唱団、神楽振興会等)での活動延人数及び霧島国際音楽祭、美術展、写真展等の鑑賞者数				C 芸術文化団体等の活動が積極的に行われるよう必要な支援を行うと共に、芸術文化団体等と連携し、発表内容の充実を図ることや積極的なPRに努めることで、現状値101,831人から2022年度118,000人を目指す。					
D 芸術文化団体に所属している人数 ※文化協会等に所属している会員数				D 芸術文化団体等と連携し、市民に興味を持ってもらう取り組みとして、具体的な活動の情報発信やPR活動等による加入促進に努め、2016年度現状値2,992人から2022年度3,600人を目指す。					
E 霧島市民会館来館者数 ※芸術鑑賞等により市民会館を利用した人数				E 指定管理者と連携し、自主文化事業のあり方や公演メニュー等、多様化するニーズの変化に対応した取り組みを行い、2016年度の現状値63,924人から2022年度71,900人を目指す。					
F									

### 3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画より)

本市では、国内でも屈指の音楽祭である「霧島国際音楽祭」や世界を舞台とする「劇団四季」の公演など優れた芸術文化のイベントが開催されるともに、市民参加型のミュージカル等の新たな文化の創造や食文化等の継承による次世代育成が行われています。

芸術文化は、鑑賞、体験のみならず日々の生活の中に存在するものであり、市民がそれぞれの感性で楽しむことができるよう、身近に触れ親しむ機会を創出し、芸術文化への意識の底上げを図っていく必要があります。

なお、市の芸術文化活動の中心組織の一つである霧島市文化協会は、各地域において、文化祭をはじめとした活動を展開していますが、少子高齢化の進行により会員数が減少するなど、後継者の育成が大きな課題となっています。

一方、市内には、組織としての形態をとらずに、芸術文化活動を行っている個人や団体も多数存在することから、今後、その把握に努め、相互交流・連携を推進し、芸術文化を支える人材の育成を図りながら、まちづくりへの活用等にも積極的に取り組む必要があります。

また、本市の芸術文化活動の拠点として最も重要な施設である霧島市民会館は、建築後50年を超えており、建物本体・設備等で改修や更新の時期を迎えているものもあることから、今後のあり方について検討する必要があります。

### 4 施策の現状

①2018年度施策の取組方針	②2018年度の取組方針の達成状況
<ul style="list-style-type: none"><li>■小・中学生を対象に、青少年に豊かな心を醸成する取組として、児童生徒芸術鑑賞会を開催する。</li><li>■指定管理者と連携し、自主文化事業等を通じて、市民ニーズに対応した良質な芸術文化に触れる機会の創出に努める。</li><li>■芸術文化団体等については、積極的に活動ができるよう、必要な支援を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■青少年劇場、児童生徒芸術鑑賞会、こころの劇場の実施により、良質な芸術鑑賞の機会を提供し、豊かな心の醸成に繋げることができた。</li><li>■自主文化事業については、5事業を実施し延べ3,346人が鑑賞や体験を行った。</li><li>■文化協会等の活動を支援するため、補助金の交付や施設使用料の減免を行った。</li></ul>
5 2019年度施策の取組方針	6 2020年度施策の取組方針
<ul style="list-style-type: none"><li>■小・中学生を対象に、青少年に豊かな心を醸成する取組として実施している児童生徒芸術鑑賞会を継続して行う。</li><li>■指定管理者と連携し、自主文化事業等を通じて、市民ニーズに対応した良質な芸術文化に触れる機会の創出に努める。</li><li>■芸術文化団体等については、積極的に活動ができるよう、必要な支援を行う。</li><li>■大規模改修から約20年が経過する市民会館のあり方について検討する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■小・中学生を対象に、青少年に豊かな心を醸成する取組として実施している児童生徒芸術鑑賞会を継続して行う。</li><li>■指定管理者と連携し、自主文化事業等を通じて、市民ニーズに対応した良質な芸術文化に触れる機会の創出に努める。</li><li>■芸術文化団体等については、積極的に活動ができるよう、必要な支援を行う。</li><li>■大規模改修から約20年が経過する市民会館のあり方について検討する。</li></ul>

政策体系	政策No.	4	基本事業名	芸術文化に触れ親しむ機会の充実	基本事業 主担当課	スポーツ・文化振興 課
	施策No.	3				
	基本事業No.	1				

**1 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**

子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。

また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

**2 基本事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?**

■国内でも屈指の音楽祭である「霧島国際音楽祭」が、1980年の初開催から40周年の節目を迎える。

■2021年に地域伝統芸能全国大会が鹿児島県で開催される。

**3 2018年度基本事業の取組方針**

■小・中学生を対象に、良質な芸術文化に触れる機会を確保し、豊かな心の醸成につなげる。

■自主文化事業等を通じて、市民ニーズに対応した良質な芸術文化に触れる機会の創出に努める。

**4 2018年度の取組達成状況**

■青少年劇場を小学校6校、児童生徒芸術鑑賞会を中学校4校で実施、また、小学校6年生は、「劇団四季」の事業である「こころの劇場」を鑑賞するなど、良質な芸術に触れる機会を提供できた。

■自主文化事業については、「今日は霧島!ピアノの日」「ロケットくれよんファミリーコンサート」「キリシマ・チェロカルテット」「きりしま舞台塾」「林まり子トークショー」の5事業を実施し、延べ3,346人が鑑賞や体験を行った。

**5 2019年度基本事業の取組方針**

■小・中学生を対象に、芸術に対する興味、関心を高めるとともに、豊かな心の醸成を目的として、良質な舞台芸術鑑賞の機会を提供する。

■指定管理者と連携し、自主文化事業等を通じて、市民ニーズに対応した良質な芸術文化に触れる機会の創出に努める。

**6 2020年度基本事業の取組方針**

■小・中学生を対象に、芸術に対する興味、関心を高めるとともに、豊かな心の醸成を目的として、良質な舞台芸術鑑賞の機会を提供する。

■指定管理者と連携し、自主文化事業等を通じて、市民ニーズに対応した良質な芸術文化に触れる機会の創出に努める。

政策体系	政策No.	4	基本事業名	芸術文化活動を実践する市民及び団体への支援	基本事業 主担当課	スポーツ・文化振興 課
	施策No.	3				
	基本事業No.	2				

**1 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)**

市民の自主的な芸術・文化活動により、多くの市民が芸術文化に親しめる機会が増えるよう、市民活動の支援に取り組みます。  
また、市文化協会や関係団体など、積極的に活動する芸術文化団体への支援や団体相互の交流の推進により、活動の活性化を図るとともに、芸術文化を支える人材の育成に努めます。

**2 基本事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?**

- 霧島市文化協会は、少子高齢化により団体数、会員数ともに減少傾向にある。
- 市内には、新たな芸術文化活動を行なっている団体は存在するものの、把握はむずかしい状況である。

**3 2018年度基本事業の取組方針**

- 芸術文化活動を推進するため、補助金等の支援を継続する。
- 市内で活動する芸術文化団体の把握方法について検討する。

**4 2018年度の取組達成状況**

- 活動支援を行なっている3団体(文化協会・少年少女合唱団・霧島神楽振興会)と2つの事業(霧島国際音楽祭・霧島国際音楽祭ビューフェーパーティー)については、補助金交付や施設使用料の減免等を行った。
- 新たな芸術文化団体の把握方法について検討を行ったが、具体的な方法は確立できなかった。

**5 2019年度基本事業の取組方針**

- 芸術文化団体等においては、支援を継続する。
- 芸術文化活動の活性化を図るため、市内で活動する芸術文化団体等の実態把握に努める。

**6 2020年度基本事業の取組方針**

- 芸術文化団体等においては、支援を継続する。
- 芸術文化活動の活性化を図るため、市内で活動する芸術文化団体等の実態把握に努める。